

大学番号：私316

注3

[平成24年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

届出

日本経済大学 経済学部 健康スポーツ経営学科

注2

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 都築育英学園  
平成27年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 事務長 アリヨシ 有吉 タイソウ 泰三

電話番号 092-922-5131

（夜間） 同上

F A X 092-921-3476

e-mail syomuka@fk.jue.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部(平成◇◇年度より変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成27年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## 経済学部

＜健康スポーツ経営学科＞		ページ
1. 調査対象大学等の概要等	.....	1
2. 授業科目の概要	.....	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	.....	15
4. 既設大学等の状況	.....	17
5. 教員組織の状況	.....	18
6. 留意事項等に対する履行状況等	.....	27
7. その他全般的事項	.....	28

## 添付資料

FD委員会運営規程	.....	31
-----------	-------	----

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 都築育英学園

## (2) 大学名

日本経済大学

## (3) 大学の位置

〒818-0197

福岡県太宰府市五条3丁目11番25号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	( ツヅキ アスカ) 都築 明寿香 (平成19年11月)	( フリガナ) 氏 名 (現職就任年月)	
学 長	( ツヅキ アスカ) 都築 明寿香 (平成19年11月)		
学 部 長	( クロダ ユキヒサ) 黒田 幸久 (平成22年10月)	(スガサワ ヨシオ) <del>菅澤 喜男</del> (平成24年4月)	一身上の都合による交替 平成24年4月1日(24)
		(イシウチ コウジ) 石内 孔治 (平成26年4月)	菅澤前学部長が大学院研究 科長就任のため交替 平成26年4月1日(26)
学科長等	( タキ トヨキ) 瀧 豊樹 (平成24年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成25年度に報告済の内容 → (25)

平成27年度に報告する内容 → (27)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ 様式は, 平成24年度開設の4年制の学科の場合(平成27年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
経済学部 健康スポーツ経営 学科 学士(健康ス ポーツ経営学)	4年	80人	— 年次 人	320人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 提出年度まで の平均入学定 員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	80人 (—) [—]	—	80人 (—) [—]	—	80人 (—) [24人]	—	80人 (若干名) [若干名]	—	0.71倍	—倍	
志願者数	41 (—) [—]	— (—) [—]	76 (—) [5]	— (—) [—]	50 (1) [7]	— (—) [—]	98 (—) [4]	— ( ) [ ]			
受験者数	41 (—) [—]	— (—) [—]	76 (—) [5]	— (—) [—]	50 (1) [7]	— (—) [—]	97 (—) [4]	— ( ) [ ]			
合格者数	41 (—) [—]	— (—) [—]	74 (—) [4]	— (—) [—]	50 (1) [7]	— (—) [—]	94 (—) [1]	— ( ) [ ]			
B 入学者数	41 (—) [—]	— (—) [—]	65 (—) [4]	— (—) [—]	38 (1) [5]	— (—) [—]	84 (—) [1]	— ( ) [ ]			
入学定員超過率 B/A	0.51		0.81		0.48		1.05				

- (注) ・ 数字は, 平成27年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。  
 ・ 「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」は, 完成年度を越えて報告書を提出する大学(「改善意見等対応状況報告書」を提出する大学)のみ記入してください。「設置計画履行状況等報告書」の場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ - ] ( - ) 41	[ - ] ( - ) 0	[ 4 ] ( - ) 65	[ - ] ( - ) 0	[ 5 ] ( - ) 38	[ - ] ( - ) 0	[ 1 ] ( - ) 85	[ ] ( ) 0	
2年次	/		[ - ] ( - ) 39	[ - ] ( - ) 0	[ 4 ] ( - ) 60	[ - ] ( - ) 0	[ 4 ] ( - ) 30	[ ] ( ) 0	
3年次			[ - ] ( - ) 33	[ - ] ( - ) 0	[ 3 ] ( - ) 55	[ ] ( ) 0			
4年次			[ - ] ( - ) 33	[ ] ( ) 0					
計			[ - ] ( - ) 41	[ 4 ] ( - ) 104	[ 9 ] ( - ) 131	[ 8 ] ( - ) 203			

- (注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	41 人	8 人	平成24年度	2 人	0 人	除籍(1人)、その他(1人)	0.195122 %
			平成25年度	6 人	0 人	就学意欲の低下(2人)、家庭の事情(1人)、除籍(1人)、その他(2人)	
			平成26年度	0 人	0 人		
			平成27年度	0 人	0 人		
平成25年度 入学者	65 人	10 人	平成25年度	6 人	0 人	就学意欲の低下(2人)、他の教育機関への入学・転学(2人)、就職(1人)、家庭の事情(1人)	0.1538462 %
			平成26年度	4 人	1 人	就職(3人)、経済的困窮(1人)	
			平成27年度	0 人	0 人		
平成26年度 入学者	39 人	9 人	平成26年度	8 人	1 人	就学意欲の低下(1人)、他の教育機関への入学・転学(1人)、就職(3人)、経済的困窮(2人)、その他(1人)	0.2307692 %
			平成27年度	1 人	0 人	就職(1人)	
平成27年度 入学者	84 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人		0 %
合 計	229 人	27 人					0.1179039 %

(注)・数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成27年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

## 2 授業科目の概要

<経済学部 健康スポーツ経営学科>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手					
基礎科目	哲学Ⅰ	1前		2								兼 1	より幅広い分野の科目を学修し基礎学力を向上させるため、平成25年度入学生から通年科目を半期科目とした。(25)		
	哲学Ⅱ	1後		2								兼 1			
	心理学Ⅰ	1前		2								兼 1			
	心理学Ⅱ	1後		2								兼 1			
	心理学	1後		2								兼 1			
	日本史Ⅰ	1前		2								兼 1			
	日本史Ⅱ	1後		2								兼 1			
	西洋史Ⅰ	1前		2								兼 1			
	西洋史Ⅱ	1後		2								兼 1			
	東洋史Ⅰ	1前		2								兼 1			
	東洋史Ⅱ	1後		2								兼 1			
	文学Ⅰ	1前		2						1				より幅広い分野の科目を学修し基礎学力を向上させるため、平成25年度入学生から通年科目を半期科目とした。(25)	
	文学Ⅱ	1後		2					1						
	文学	1後		2					1						
	文章表現論Ⅰ	1前		2						1				より幅広い分野の科目を学修し基礎学力を向上させるため、平成25年度入学生から通年科目を半期科目とした。(25)	
	文章表現論Ⅱ	1後		2					1						
	文章表現論	1前		2					1						
	倫理学Ⅰ	1前		2										兼 1	
	倫理学Ⅱ	1後		2										兼 1	
	地理学Ⅰ	1前		2										兼 1	
	地理学Ⅱ	1後		2										兼 1	
	地誌学Ⅰ	1前		2										兼 1	
	地誌学Ⅱ	1後		2										兼 1	
	地域再発見	1後		2										2 兼 4	平成25年度から2名の教員によるオムニバス授業とした。(25)
	日本事情(人文)Ⅰ	1前		2										兼 1	より幅広い分野の科目を学修し基礎学力を向上させるため、平成25年度入学生から通年科目を半期科目とした。(25)
	日本事情(人文)Ⅱ	1後		2										兼 1	
	日本事情(人文)	1前		2										兼 1	
	情報社会学Ⅰ	1前		2										兼 1	より幅広い分野の科目を学修し基礎学力を向上させるため、平成25年度入学生から通年科目を半期科目とした。(25)
	情報社会学Ⅱ	1後		2										兼 1	
	情報社会学	1前		2										兼 1	
	社会学概論Ⅰ	1前		2										兼 1	より幅広い分野の科目を学修し基礎学力を向上させるため、平成25年度入学生から通年科目を半期科目とした。(25)
	社会学概論Ⅱ	1後		2										兼 1	
社会学概論	1後		2									兼 1			
政治学Ⅰ	1前		2									兼 1			
政治学Ⅱ	1後		2									兼 1			

基 礎 科 目	憲法Ⅰ	1前	2							兼 1	
	憲法Ⅱ	1後	2							兼 1	
	プロスポーツ論Ⅰ	1前	2							兼 1	より幅広い分野の科目を学修し基礎学力を向上させるため、平成25年度入学生から通年科目を半期科目とした。(25)
	プロスポーツ論Ⅱ	1後	2							兼 1	
	プロスポーツ論	1後	2							兼 1	
	日本事情(社会)Ⅰ	1前	2							兼 1	より幅広い分野の科目を学修し基礎学力を向上させるため、平成25年度入学生から通年科目を半期科目とした。(25)
	日本事情(社会)Ⅱ	1後	2							兼 1	
	日本事情(社会)	1前	2							兼 1	
	生物学Ⅰ	1前	2							兼 1	より幅広い分野の科目を学修し基礎学力を向上させるため、平成25年度入学生から通年科目を半期科目とした。(25)
	生物学Ⅱ	1後	2							兼 1	
	生物学	1前	2							兼 1	
	数学Ⅰ	1前	2							兼 1	より幅広い分野の科目を学修し基礎学力を向上させるため、平成25年度入学生から通年科目を半期科目とした。(25)
	数学Ⅱ	1後	2							兼 1	
	数学	1前	2							兼 1	
	統計学概論Ⅰ	1前	2							兼 1	より幅広い分野の科目を学修し基礎学力を向上させるため、平成25年度入学生から通年科目を半期科目とするともに科目名を変更(25)
	統計学概論Ⅱ	1後	2							兼 1	
	ビジネス統計	1後	2							兼 1	
	ソシオ・バイオロジーⅠ	1前	2							兼 1	より幅広い分野の科目を学修し基礎学力を向上させるため、平成25年度入学生から通年科目を半期科目とした。(25)
	ソシオ・バイオロジーⅡ	1後	2							兼 1	
	ソシオ・バイオロジー	1後	2							兼 1	
	環境論Ⅰ	1前	2							兼 1	より幅広い分野の科目を学修し基礎学力を向上させるため、平成25年度入学生から通年科目を半期科目とした。(25)
	環境論Ⅱ	1後	2							兼 1	
	環境論	1後	2							兼 1	
	日本事情(自然)Ⅰ	1前	2							兼 1	より幅広い分野の科目を学修し基礎学力を向上させるため、平成25年度入学生から通年科目を半期科目とした。(25)
	日本事情(自然)Ⅱ	1後	2							兼 1	
	日本事情(自然)	1前	2							兼 1	
	英語ⅠA	1前	1							兼 1	平成25年度入学生から、語学科目を充実するため、新たに入門者向けに英語Ⅰを開設(25)
	英語ⅠB	1後	1							兼 1	
	英語(初級)A	1前	1							兼 1	平成25年度入学生から、語学科目を充実するため、体系的な科目名に変更し、初級者向けに英語Ⅱを開設(25)
	英語(初級)B	1後	1							兼 1	
英語ⅡA	1前	1							兼 1		
英語ⅡB	1後	1							兼 1		
英語(中級)A	1前	1							兼 1	平成25年度入学生から、語学科目を充実するため、体系的な科目名に変更し、中級者向けに英語Ⅲを開設(25)	
英語(中級)B	1後	1							兼 1		
英語ⅢA	1前	1							兼 1		
英語ⅢB	1後	1							兼 1		
英会話A	1前	1				+	0		兼 1	平成25年4月に、専任講師に就任予定の兼任講師が担当予定であったが受講者が少なかったため、他の兼任講師が統一して担当(24)	
英会話B	1後	1				+	0		兼 1	平成26年4月から本学科所属の専任講師が担当(26)	
						+	0		兼 1	平成27年4月から受講者が少ないため他の兼任講師が統一して担当(27)	



基 礎 科 目	英語Ⅳ A	1前	1			1		兼 1	平成25年度入学生から、語学科目を充実するため、体系的な科目名に変更し、基礎英会話として英語Ⅳを開設 (25)
	英語Ⅳ B	1後	1			1		兼 1	
	英語 (上級) A	1前	1			+		兼 1	平成25年度入学生から、語学科目を充実するため、体系的な科目名に変更し、上級者向けの応用英会話として英語Ⅴを開設 (25)
	英語 (上級) B	1後	1			+		兼 1	
	英語Ⅴ A	2前	1			+		兼 1	平成26年4月から本学科所属の専任講師が担当 (26)
	英語Ⅴ B	2後	1			+		兼 1	平成27年4月から受講者が少ないため他の兼任講師が統一して担当 (27)
	韓国語 (初級) A	1前	1					兼 1	平成25年度入学生から、語学科目を充実するため、体系的な科目名に変更し、第2外国語の韓国語初級者向けに韓国語Ⅰを開設した。(25)
	韓国語 (初級) B	1後	1					兼 1	
	韓国語Ⅰ A	1前	1					兼 1	
	韓国語Ⅰ B	1後	1					兼 1	
	ドイツ語 (初級) A	1前	1					兼 1	平成25年度入学生から、語学科目を充実するため、体系的な科目名に変更し、第2外国語のドイツ語初級者向けにドイツ語Ⅰを開設 (25)
	ドイツ語 (初級) B	1後	1					兼 1	
	ドイツ語Ⅰ A	1前	1					兼 1	
	ドイツ語Ⅰ B	1後	1					兼 1	
	中国語 (初級) A	1前	1					兼 1	平成25年度入学生から、語学科目を充実するため、体系的な科目名に変更し、第2外国語の中国語初級者向けに中国語Ⅰを開設 (25)
	中国語 (初級) B	1後	1					兼 1	
	中国語Ⅰ A	1前	1					兼 1	
	中国語Ⅰ B	1後	1					兼 1	
	日本語 (初級) A	1前	1					兼 1	平成25年度入学生から、語学科目を充実するため、体系的な科目名に変更し、初級者向けの日本語として日本語Ⅰを開設 (25)
	日本語 (初級) B	1後	1					兼 1	
	日本語Ⅰ A	1前	2					兼 1	
	日本語Ⅰ B	1後	2					兼 1	
	日本語 (中級) A	1前	1					兼 1	平成25年度入学生から、語学科目を充実するため、体系的な科目名に変更し、中級者向けの日本語として日本語Ⅱを開設 (25)
	日本語 (中級) B	1後	1					兼 1	
	日本語Ⅱ A	1前	2					兼 1	
	日本語Ⅱ B	1後	2					兼 1	
	日本語 (中上級) A	1前	1					兼 1	平成25年度入学生から、語学科目を充実するため、体系的な科目名に変更し、中上級者向けの日本語として日本語Ⅲを開設 (25)
	日本語 (中上級) B	1後	1					兼 1	
	日本語Ⅲ A	1前	2					兼 1	
	日本語Ⅲ B	1後	2					兼 1	
日本語 (上級) A	1前	1					兼 1	平成25年度入学生から、語学科目を充実するため、体系的な科目名に変更し、上級者向けの日本語として日本語Ⅳを開設 (25)	
日本語 (上級) B	1後	1					兼 1		
日本語Ⅳ A	1前	2					兼 1		
日本語Ⅳ B	1後	2					兼 1		
日本語Ⅴ A	2前	2					兼 1	平成25年度入学生から、語学科目を充実するため、新たに上級実践者向けの日本語として日本語Ⅴを開設 (25)	
日本語Ⅴ B	2後	2					兼 1		
実用日本語 A	2前 1前	1					兼 1	平成25年度入学生から、語学科目を充実するため、より体系的に学習できるよう配当年次を2年生とした。(25)	
実用日本語 B	2後 1後	1					兼 1		
ビジネス日本語 A	2前 1前	1					兼 1	平成25年度入学生から、語学科目を充実するため、より体系的に学習できるよう配当年次を2年生とした。(25)	
ビジネス日本語 B	2後 1後	1					兼 1		

基 礎 科 目	ビジネスイングリッシュ I A	3前 -2前	1						兼 1	平成25年度入学生から、語学科目を充実するため、より体系的に学習できるよう配当年次を3年生とした。(25)
	ビジネスイングリッシュ I B	3後 -2後	1						兼 1	
	韓国語 (中級) A	2前	1						兼 1	平成25年度入学生から、語学科目を充実するため、体系的な科目名に変更し、第2外国語の韓国語中級者向けに韓国語 II を開設 (25)
	韓国語 (中級) B	2後	1					兼 1		
	韓国語 II A	1前	1					兼 1		
	韓国語 II B	1後	1					兼 1		
	ドイツ語 (中級) A	2前	1						兼 1	平成25年度入学生から、語学科目を充実するため、体系的な科目名に変更し、第2外国語のドイツ語中級者向けにドイツ語 II を開設 (25)
	ドイツ語 (中級) B	2後	1					兼 1		
	ドイツ語 II A	2前	1					兼 1		
	ドイツ語 II B	2後	1					兼 1		
	中国語 (中級) A	2前	1						兼 1	平成25年度入学生から、語学科目を充実するため、体系的な科目名に変更し、第2外国語の中国語中級者向けに中国語 II を開設 (25)
	中国語 (中級) B	2後	1					兼 1		
	中国語 II A	1前	1					兼 1		
	中国語 II B	1後	1					兼 1		
	ビジネスイングリッシュ II A	4前 -3前	1						兼 1	平成25年度入学生から、語学科目を充実するため、より体系的に学習できるよう配当年次を4年生とした。(25)
	ビジネスイングリッシュ II B	4後 -3後	1						兼 1	
	韓国語 (上級) A	3前	1						兼 1	平成25年度入学生から、語学科目を充実するため、体系的な科目名に変更し、第2外国語の韓国語上級者向けに韓国語 III を開設 (25)
	韓国語 (上級) B	3後	1					兼 1		
	韓国語 III A	2前	1					兼 1		
	韓国語 III B	2後	1					兼 1		
	韓国語 IV A	3前	1						兼 1	平成25年度入学生から、語学科目を充実するため、新たに第2外国語の韓国語上級実践者向けに韓国語 IV を開設 (25)
	韓国語 IV B	3後	1					兼 1		
	ドイツ語 (上級) A	3前	1						兼 1	平成25年度入学生から、受講者が少ないドイツ語上級者向けは廃止科目とした。(25)
	ドイツ語 (上級) B	3後	1					兼 1		
	中国語 (上級) A	3前	1						兼 1	平成25年度入学生から、語学科目を充実するため、体系的な科目名に変更し、第2外国語の中国語上級者向けに中国語 III を開設 (25)
	中国語 (上級) B	3後	1					兼 1		
	中国語 III A	2前	1					兼 1		
中国語 III B	2後	1					兼 1			
中国語 IV A	3前	1						兼 1	平成25年度入学生から、語学科目を充実するため、新たに第2外国語の中国語上級実践者向けに中国語 IV を開設 (25)	
中国語 IV B	3後	1					兼 1			
フランス語 I A	1前	1						兼 1	平成25年度入学生から、語学科目を充実するため、新たに第2外国語のフランス語初級者向けにフランス語 I を追加 (25)	
フランス語 I B	1後	1					兼 1			
フランス語 II A	2前	1						兼 1	平成25年度入学生から、語学科目を充実するため、第2外国語のフランス語中級者向けにフランス語 II を追加 (25)	
フランス語 II B	2後	1					兼 1			
健康科学 I	1前	2		1		0			専任講師の担当コマ数の兼ね合いで専任教授が担当(24)	
健康科学 II	1後	2		1		0			より幅広い分野の科目を学修し基礎学力を向上させるため、平成25年度入学生から通年科目を半期科目とした。(25)	
健康科学	1前	2		1		0				

基礎科目	スポーツ I A	1前	1		<del>2</del> <del>0</del> +	1	1			受講者数が少ないため、両科目とも専任講師が統一して科目を担当 (24)
	スポーツ I B	1後	1		<del>2</del> <del>0</del> +	1	1			受講者の希望に基づき種目数を増加 (27)
	スポーツ A	1前	1		1		1			スポーツは1年次配当科目のみであり、平成25年度入学生から I の区分を外す科目名とした。(25)
	スポーツ B	1後	1		1		1			
専門科目	S. D. Seminar A	1前	2		1	+	<del>2</del> <del>0</del> -	<del>2</del> <del>0</del> -		届出時は、4クラスを予定していたが、受講者数が少なかったため、2クラスのみ開講 (24)
	S. D. Seminar B	1後	2		1	+	<del>2</del> <del>0</del> -	<del>2</del> <del>0</del> -		25年度は入学者が65名のため、3クラス開講 (25)
	情報リテラシー基礎実習 A	1前	1						兼 1	平成26年度は入学者が38名のため、教授1、准教授1の計2クラス開講 (26)
	情報リテラシー基礎実習 B	1後	1						兼 1	平成27年度は入学者が増加したため、教授1、講師2の計3クラス開講 (27)
	情報リテラシー基礎 A	1前	2						兼 1	平成25年度入学生から情報リテラシー技術の修得を重視し必修化するとともに、講義主体の科目とし2単位とした。(25)
	情報リテラシー基礎 B	1後	2						兼 1	
	ROSE (海外語学・経済研修)	1前	2						兼 1	
	基礎ゼミ A	2前	2	-	1		<del>2</del> <del>0</del> -	<del>2</del> <del>0</del> -		平成25年度入学生から必修科目とした。なお、届出時は4クラスを予定していたが、受講者数が少なかったため、2クラスのみ開講 (25)
	基礎ゼミ B	2後	2	-	1		<del>2</del> <del>0</del> -	<del>2</del> <del>0</del> -		平成26年度は2年生が59名のため、教授1、講師2の計3クラス開講 (26)
	キャリアデザイン I A	2前	2						兼 1	平成27年度は2年生が32名であり、教授1、講師1の計2クラス開講 (27)
	キャリアデザイン I B	2後	2						兼 1	受講者が少なかったため、他学科の兼任教授が担当するとともに、平成25年度入学生から講義の他に、実習として修業体験2単位を追加 (25)
	インターンシップ	2前	2		1		<del>0</del> <del>0</del> +	<del>0</del> <del>0</del> +	兼 1	平成26年度は、専任教授が担当 (26)
	インターンシップ (実習)	2前	2		1				兼 1	
	専門ゼミ I A	3前	2	-	2	1				平成25年度入学生から必修科目とした。(25)
専門ゼミ I B	3後	2	-	2	1				平成26年度は3年生が33名のため、教授2、准教授1の計3クラス開講 (26)	
キャリアデザイン II A	3前	2						兼 1	平成27年度も3年生が55名であり、教授2、准教授1の計3クラス開講 (27)	
キャリアデザイン II B	3後	2						兼 1		

専 門 科 目	専門ゼミⅡA	4前	2	-2-	4					平成25年度入学生から必修科目とした。(25)
	専門ゼミⅡB	4後	2	-2-	4					
	女性のためのライフプランニング	4前		2						カリキュラムの見直しにより、25年度入学者より廃止科目とした。(25)
	経営学 A	1前	2		-1-				兼 1	平成25年4月に、専任教授に就任予定の兼任教授が担当(24)
	経営学 B	1後	2		-1-				兼 1	平成26年度4月、上記兼任教授の退職に伴い兼任准教授が担当(26)
	経済学 A	1前		2					兼 1	
	経済学 B	1後		2					兼 1	
	法学 A	1前		2					兼 1	
	法学 B	1後		2					兼 1	
	簿記原理ⅠA	1前		2		1				
	簿記原理ⅠB	1後		2		1				
	商学 A	1前		2					兼 1	
	商学 B	1後		2					兼 1	
	情報リテラシー応用実習 A	2前		1					兼 2 兼 1 兼 2 兼 1	平成25年度入学生から情報リテラシー技術の修得を重視し必修化するとともに、講義主体の科目とし2単位とした。(25)
	情報リテラシー応用実習 B	2後		1					兼 1	平成27年度、履修の容易性を考慮しコマ数を増加(27)
	情報リテラシー応用 A	2前	2						兼 1	
	情報リテラシー応用 B	2後	2						兼 1	
	経営組織論	2前		2					兼 1	
	スポーツ組織論	2後		2			1		兼 1	経営学分野と体育学分野の融合を専門とする専任講師就任に伴い担当者変更(26)
	マーケティング論	2前		2					兼 1	
	スポーツビジネスマーケティング論	2後		2			1		兼 1	経営学分野と体育学分野の融合を専門とする専任講師就任に伴い担当者変更(26)
	会計学	2前		2		-1-			兼 1	専任教授のコマ数の兼ね合いで兼任講師が担当(25)
	スポーツ経営財務論	2後		2		-1-	1		兼 1	スポーツ分野と経営分野に、より精通した兼任講師が担当(25)
	情報処理論 A	2前		2					兼 1	経営学分野と体育学分野の融合を専門とする専任講師就任に伴い担当者変更(26)
	情報処理論 B	2後		2					兼 1	
	企業論	2前		2					兼 1	
	スポーツビジネス論	2後		2			1		兼 1	経営学分野と体育学分野の融合を専門とする専任講師就任に伴い担当者変更(26)
	経営管理論	3前		2		-1-			兼 1	平成26年3月、担当予定教授が専任を辞退し兼任に就任(26)
	スポーツ経営管理論	3後		2		-1-	1		兼 1	経営学分野と体育学分野の融合を専門とする専任講師就任に伴い担当者変更(26)
	経営戦略論	3前		2		-1-			兼 1	平成26年3月、担当予定教授が専任を辞退し兼任に就任(26)
スポーツ経営戦略論	3後		2		-1-	1		兼 1	経営学分野と体育学分野の融合を専門とする専任講師就任に伴い担当者変更(26)	
経営労務論	3前		2					兼 1		

専 門 科 目	スポーツ労務管理論	3後	2			1		兼 1	経営学分野と体育学分野の融合を専門とする専任講師就任に伴い担当者変更 (26)	
	経営情報システム論 A	3前	2	—	1			兼 1	平成26年3月、担当予定教授が専任を辞退し兼任に就任 (26)	
	経営情報システム論 B	3後	2	—	1			兼 1		
	外書講読 A	3前	2			1		兼 1	平成26年4月、米国大学院修了の専任講師に担当者変更 (26)	
	外書講読 B	3後	2			1		兼 1		
	経営財務論 I	4前	2					兼 1		
	経営財務論 II	4後	2					兼 1		
	健康管理論	1前	2		1	—			平成26年4月、担当講師が准教授に昇格 (26)	
	運動障害と救急処置	1後	2		1	—		兼 1	兼担講師の本属での業務の兼ね合いで専任講師が担当 (25)	
										平成26年4月、担当講師が准教授に昇格 (26)
	トレーニング科学 I	1前	2		1	—		兼 1	兼任講師辞任に伴い専任講師が担当 (25)	
										平成26年4月、担当講師が准教授に昇格 (26)
	スポーツ文化論	2後	2			1	—		専任助教の昇格により専任講師が担当 (25)	
	スポーツ生理学	2前	2	1					専任助教の昇格により専任講師が担当、コマ数の兼ね合いで開講時期を変更 (25)	
	地域スポーツ振興論	2後	2			1	—			
	スポーツ経営学	2前	2	1						
	スポーツ栄養学	2後	2	1						
	トレーニング科学 II	2前	2			1		兼 1	兼担講師の業務の兼ね合いで専任講師が担当 (25)	
	スポーツ社会学	2後	2			1	—		専任助教の昇格により専任講師が担当 (25)	
	運動機能解剖学	2前	2	1		—		兼 1	兼担講師の業務の兼ね合いで専任講師が担当 (25)	
										運動機能が専門分野の専任教授に担当者変更 (26)
	障害者スポーツ論	2後	2	1				兼 1	平成27年度、運動機能が専門分野の専任教授に担当者変更 (27)	
	健康スポーツ実習 I	2前	1	1				兼 1	兼任講師辞任に伴い専任教授が担当 (25)	
	健康スポーツ実習 II	2後	1	1				兼 1	兼任講師辞任に伴い専任教授が担当 (25)	
球技 I	2前	1	1							
球技 II	2後	1		1	—			平成26年4月、担当講師が准教授に昇格 (26)		
レジャースポーツ	2前	1			1	—		専任助教の昇格により専任講師が担当 (25)		
スポーツ指導論	3後	2			1					
スポーツマネジメント論	3後	2	1							
スポーツ心理学	3前	2	1							

専 門 科 目	スポーツ医学	3前	2	1				兼 1	平成27年4月、スポーツ医学が専門の専任教授に担当者変更 (27)	
	スポーツ行政学	3後	2			1	+		平成25年4月、担当助教が講師に昇格。3年次配当科目担当 (26)	
	レクリエーション論	3後	2			1		兼 1	兼任講師の就任辞退により専任講師が担当 (26)	
	健康運動実践指導者特講	3前	2	+	3	1	1	0	オムニバス。専任教授3名、准教授1名、講師2名で担当 (26)	
	スポーツコーチング実践演習	3後	2			1	+		平成26年4月、担当講師が准教授に昇格 (26)	
	コミュニティスポーツ実践演習	3後	2				1	+	平成25年4月、担当助教が講師に昇格。3年次配当科目担当 (26)	
	スポーツビジネス実践演習	3後	2		1					
	健康スポーツ実習Ⅲ	3前	1						兼 1	
	健康スポーツ実習Ⅳ	3前	1				1	+		水泳が得意分野の専任講師に担当者変更 (26)
	レクリエーション指導法	3前	1				1		兼 1	兼任講師の就任辞退により専任講師が担当 (26)
	健康運動指導士特講	4前	4		1					履修希望者がいなかったために未開講 (27)
	レクリエーション実習	4前	1				1			

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
  - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
  - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

## (2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備 考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	平成25年度入学生から、より幅広い分野の基礎科目を学修し基礎学力の向上充実を図るため、基礎科目の通年科目を努めて半期科目にするとともに、語学科目の体系化・充実化を図った。このため基礎科目数が平成24年度(93)から平成25年度入学生(88)に減少した。またゼミ科目・情報科目を必修化した。(25) 平成27年度、授業科目数の変更はありません。(27)
4	172	0	176	14	157	0	171	
				<del>4</del>	<del>172</del>	0	<del>176</del>	
				[ +10 ]	[ Δ15 ]	[ ]	[ Δ5 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：Δ1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

### (3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2	該当なし					
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

### (4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	心理学Ⅰ・Ⅱ	4	1	一般	選択	平成25年度入学生から基礎科目を幅広く学修させるため、半期科目「心理学」を代替開設
2	文学Ⅰ・Ⅱ	4	1	一般	選択	平成25年度入学生から基礎科目を幅広く学修させるため、半期科目「文学」を代替開設
3	文章表現論Ⅰ・Ⅱ	4	1	一般	選択	平成25年度入学生から基礎科目を幅広く学修させるため、半期科目「文章表現論」を代替開設
4	日本事情(人文)Ⅰ・Ⅱ	4	1	一般	選択	平成25年度入学生から基礎科目を幅広く学修させるため、半期科目「日本事情(人文)」を代替開設
5	情報社会学Ⅰ・Ⅱ	4	1	一般	選択	平成25年度入学生から基礎科目を幅広く学修させるため、半期科目「情報社会学」を代替開設
6	社会学概論Ⅰ・Ⅱ	4	1	一般	選択	平成25年度入学生から基礎科目を幅広く学修させるため、半期科目「社会学概論」を代替開設
7	プロスポーツ論Ⅰ・Ⅱ	4	1	一般	選択	平成25年度入学生から基礎科目を幅広く学修させるため、半期科目「プロスポーツ論」を代替開設
8	日本事情(社会)Ⅰ・Ⅱ	4	1	一般	選択	平成25年度入学生から基礎科目を幅広く学修させるため、半期科目「日本事情(社会)」を代替開設
9	生物学Ⅰ・Ⅱ	4	1	一般	選択	平成25年度入学生から基礎科目を幅広く学修させるため、半期科目「生物学」を代替開設
10	数学Ⅰ・Ⅱ	4	1	一般	選択	平成25年度入学生から基礎科目を幅広く学修させるため、半期科目「数学」を代替開設
11	統計学Ⅰ・Ⅱ	4	1	一般	選択	平成25年度入学生から基礎科目を幅広く学修させるため、半期科目「ビジネス統計」を代替開設
12	ソシオバイオロジーⅠ・Ⅱ	4	1	一般	選択	平成25年度入学生から基礎科目を幅広く学修させるため、半期科目「ソシオバイオロジー」を代替開設
13	環境論Ⅰ・Ⅱ	4	1	一般	選択	平成25年度入学生から基礎科目を幅広く学修させるため、半期科目「環境論」を代替開設
14	日本事情(自然)Ⅰ・Ⅱ	4	1	一般	選択	平成25年度入学生から基礎科目を幅広く学修させるため、半期科目「日本事情(自然)」を代替開設
15	英語(初級)A・B	2	1	一般	選択	平成25年度入学生から語学科目の充実化を図るため、体系的な科目名「英語ⅡA・B」を代替開設
16	英語(中級)A・B	2	1	一般	選択	平成25年度入学生から語学科目の充実化を図るため、体系的な科目名「英語ⅢA・B」を代替開設
17	英会話A・B	2	1	一般	選択	平成25年度入学生から語学科目の充実化を図るため、体系的な科目名「英語ⅣA・B」を代替開設
18	英語(上級)A・B	2	1	一般	選択	平成25年度入学生から語学科目の充実化を図るため、体系的な科目名「英語ⅤA・B」を代替開設
19	韓国語(初級)A・B	2	1	一般	選択	平成25年度入学生から語学科目の充実化を図るため、体系的な科目名「韓国語ⅠA・B」を代替開設
20	ドイツ語(初級)A・B	2	1	一般	選択	平成25年度入学生から語学科目の充実化を図るため、体系的な科目名「ドイツ語ⅠA・B」を代替開設
21	中国語(初級)A・B	2	1	一般	選択	平成25年度入学生から語学科目の充実化を図るため、体系的な科目名「中国語ⅠA・B」を代替開設
22	日本語(初級)A・B	2	1	一般	選択	平成25年度入学生から語学科目の充実化を図るため、体系的な科目名「日本語ⅠA・B」を代替開設

23	日本語（中級）A・B	2	1	一般	選択	平成25年度入学生から語学科目の充実化を図るため、体系的な科目名「日本語ⅡA・B」を代替開設
24	日本語（中上級）A・B	2	1	一般	選択	平成25年度入学生から語学科目の充実化を図るため、体系的な科目名「日本語ⅢA・B」を代替開設
25	日本語（上級）A・B	2	1	一般	選択	平成25年度入学生から語学科目の充実化を図るため、体系的な科目名「日本語ⅣA・B」を代替開設
26	韓国語（中級）A・B	2	2	一般	選択	平成25年度入学生から語学科目の充実化を図るため、体系的な科目名「韓国語ⅡA・B」を代替開設
27	ドイツ語（中級）A・B	2	2	一般	選択	平成25年度入学生から語学科目の充実化を図るため、体系的な科目名「ドイツ語ⅡA・B」を代替開設
28	中国語（中級）A・B	2	2	一般	選択	平成25年度入学生から語学科目の充実化を図るため、体系的な科目名「中国ⅡA・B」を代替開設
29	韓国語（上級）A・B	2	3	一般	選択	平成25年度入学生から語学科目の充実化を図るため、体系的な科目名「韓国ⅢA・B」を代替開設
30	ドイツ語（上級）A・B	2	3	一般	選択	第2外国語にフランス語を追加し、受講生の少ない本科目を廃止。代替措置なし。
31	中国語（上級）A・B	2	3	一般	選択	平成25年度入学生から語学科目の充実化を図るため、体系的な科目群「中国ⅢA・B」を代替開設
32	健康科学Ⅰ・Ⅱ	4	1	一般	選択	平成25年度入学生から基礎科目を幅広く学修させるため、半期科目「健康科学」を代替開設
33	スポーツⅠA・B	2	1	一般	選択	平成25年度入学生からⅠの区分を外し、通年科目「スポーツA・B」を代替開設
34	情報リテラシー基礎実習A・B	2	1	専門	選択	平成25年度入学生から情報リテラシー技術の修得を重視し、必修科目「情報リテラシー基礎A・B」を代替開設
35	女性のためのライフプランニング	2	4	専門	選択	平成25年度入学生から受講生の少ない本科目を廃止。代替措置なし。
36	情報リテラシー応用実習A・B	2	2	専門	選択	平成25年度入学生から情報リテラシー技術の修得を重視し、必修科目「情報リテラシー応用A・B」を代替開設

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

#### (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

平成25年度入学生用カリキュラムの検討において、特に基礎科目の見直しを行ったが、学生の基礎学力の向上のため、基礎科目を幅広く、より多くの分野の科目を学修させることを狙いとし、半期で履修可能な科目については従来の通年科目から半期科目とした。また、語学科目の充実を図るため習熟度に応じ科目名を「Ⅰ、Ⅱ・・・」と変更するとともに第2外国語を追加する等、体系化を図った。このことにより、学生は従前に増して基礎学力を身に付けることになるものと確信する。専門科目については受講生の少なかった「女性のためのライフプランニング」を廃止し「インターンシップ（実習）」を追加したが、他の専門科目は全て設置時の計画どおりの開講であり、本学科の専門性は十分維持されるものと思料する。学生に対する周知については、オリエンテーション（履修説明）において24年度入学生との相違について説明した。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

#### (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{20.45\%}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。



### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	(例) 校舎敷地と別地 (徒歩〇分)		
	校舎敷地	56,677.69㎡ <del>54,538.45㎡</del>	0㎡	0㎡	56,677.69㎡ 54,538.45㎡			
	運動場用地	17,629.01㎡	7,229.03㎡ <del>-7,229.63㎡</del>	0㎡ -13,093.61㎡	24,858.04㎡ <del>-37,952.25㎡</del>			
	小 計	74,306.70㎡ <del>-72,167.46㎡</del>	7,229.03㎡ <del>-7,229.63㎡</del>	0㎡ -13,093.61㎡	81,535.73㎡ <del>-92,490.70㎡</del>			
	そ の 他	49,064.62㎡ <del>-49,362.72㎡</del>	0㎡	0㎡	49,064.62㎡ <del>-49,362.72㎡</del>			
	合 計	123,371.32㎡ <del>+21,530.18㎡</del>	7,229.03㎡ <del>-7,229.63㎡</del>	0㎡ -13,093.61㎡	130,600.35㎡ 141,853.42㎡			
(2) 校 舎	専 用	42,405.28㎡ <del>-35,796.19㎡</del>	386.00㎡	0㎡ <del>-9,132.89㎡</del>	42,791.68㎡ <del>-45,309.68㎡</del>			
	( m <sup>2</sup> )	( m <sup>2</sup> )	( m <sup>2</sup> )	( m <sup>2</sup> )	( m <sup>2</sup> )			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	77室	24室	6室	5室 (補助職員 5人)	3室 (補助職員 5人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			(例) 平成26年4月 専任教授1名を新規 採用のため(26)		
	経済学部 健康スポーツ経営学科		11 —10— 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	昨年度は、大学全体 (3キャンパス分)を 記載してしまいまし た。申し訳ありませ ん。今年度から健康ス ポーツ経営学科が所在 する福岡キャンパスの みの状況を報告しま す。(25)
	健康スポーツ 経営学科	110,694 [28,668] <del>+64,706 [43,048]</del> (105,826 [26,095]) <del>(+62,839 [25,668])</del> <del>(+61,106 [42,448])</del>	220 [80] <del>—230 [55]</del> (208 [67]) <del>—(230 [55])</del>	2,714 [2,714] <del>—5,404 [5,404]</del> (2,714 [2,714]) <del>—(5,404 [5,404])</del>	957 <del>—1,484</del> (990) <del>—(957)</del> <del>—(1,366)</del>	0 <del>—37,837</del> 0 <del>—(37,837)</del>	0   ( )	
	計	110,694 [28,668] <del>+64,706 [43,048]</del> (105,826 [26,095]) <del>(+62,839 [25,668])</del> <del>(+61,106 [42,448])</del>	220 [80] <del>—230 [55]</del> (208 [67]) <del>—(230 [55])</del>	2,714 [2,714] <del>—5,404 [5,404]</del> 2,714 [2,714] <del>—(5,404 [5,404])</del>	957 <del>—1,484</del> (990) <del>—(957)</del> <del>—(1,366)</del>	0 <del>—37,837</del> 0 <del>—(37,837)</del>	0   ( )	
		110,694 [28,668] <del>+64,706 [43,048]</del> (105,826 [26,095]) <del>(+62,839 [25,668])</del> <del>(+61,106 [42,448])</del>	220 [80] <del>—230 [55]</del> (208 [67]) <del>—(230 [55])</del>	2,714 [2,714] <del>—5,404 [5,404]</del> 2,714 [2,714] <del>—(5,404 [5,404])</del>	957 <del>—1,484</del> (990) <del>—(957)</del> <del>—(1,366)</del>	0 <del>—37,837</del> 0 <del>—(37,837)</del>	0   ( )	
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		福岡キャンパスのみの 図書館の状況です。 (25)		
	1,436.8㎡ <del>—2,579㎡—</del>	208  —684—		114,000  —140,000—				
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要						
	1,392.02㎡	テニスコート1面		柔道場1、 武道場1				

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	100千円	100千円	図書購入費	2,000千円	2,000千円	2,000千円
	共同研究費等	2,000千円	2,000千円	設備購入費	5,300千円	5,300千円	5,300千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		940千円	740千円	740千円	740千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成27年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(27)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

#### 4 既設大学等の状況

大学 の 名 称		日本経済大学							備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	平成26年度より学生募集停止
	年	人	年次 人	人		倍			
経済学部		600		2400		0.69			
経済学科	4	150	若干名	600	学士 (経済学)	0.66	昭和43年度	福岡県太宰府市五条3-11-25	
経営学科	4	—	—	—	学士 (経済学)	—	昭和50年度		
商学科	4	300	若干名	1200	学士 (経済学)	0.70	平成17年度	福岡県太宰府市五条3-11-25	
経営法学科	4	70	若干名	280	学士 (経済学)	0.75	平成19年度	福岡県太宰府市五条3-11-25	
健康スポーツ経営学科	4	80	若干名	320	学士(健康 スポーツ経営学)	0.71	平成24年度	福岡県太宰府市五条3-11-25	
経営学部									
経営学科	4	1000	若干名	4000	学士 (経営学)	0.71	平成26年度	東京都渋谷区桜丘町24-5 福岡県太宰府市五条3-11-25	
経営学研究科									
経営学専攻 (博士前期課程)	2	20		40	修士 (経営学)	1.1	平成24年度	東京都渋谷区桜丘町24-5	
経営学研究科									
経営学専攻 (博士後期課程)	3	3		9	博士 (経営学)	0.83	平成26年度	東京都渋谷区桜丘町24-5	
大学 の 名 称		福岡こども短期大学							備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
こども教育学科	2	350	一人	700	短期大学 (こども教育)	0.73	昭和51年度	福岡県太宰府市五条3-11-25	

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成27年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。

※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。

・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。

・AC対象学部等についても必ず記入してください。

・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。

・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<経済学部 健康スポーツ経営学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画				変更状況				備考			
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月				
専	教授	瀧 豊樹 (51)	平成24年4月	スポーツⅠA スポーツⅠB 球技Ⅰ 基礎ゼミA 基礎ゼミB スポーツ心理学 専門ゼミⅠA 専門ゼミⅠB 専門ゼミⅡA 専門ゼミⅡB	専	講師	片桐 章光 (31)	平成24年4月	スポーツⅠA	平成24年4月 受講者数が少ないため、 担当者を統一(24)	
					専	講師	片桐 章光 (31)	平成24年4月	スポーツⅠB		
					専	教授	田村 義清 (67)	平成25年4月	スポーツⅠA		平成25年4月 田村義清教授が新たに専任 として就任。本科目を担当(25)
					専	教授	田村 義清 (67)	平成25年4月	スポーツⅠB		
					専	教授	光井 信介 (40)	平成25年4月	基礎ゼミA		平成25年4月 光井信介教授が新たに専任 として就任。本科目を担当(25)
					専	教授	光井 信介 (40)	平成25年4月	基礎ゼミB		
専	教授	木村 公喜 (48)	平成24年4月	基礎ゼミA 基礎ゼミB 専門ゼミⅠA 専門ゼミⅠB 専門ゼミⅡA 専門ゼミⅡB スポーツ経営学 スポーツ生理学 スポーツ栄養学 スポーツマネジメント論 健康運動実践指導者特講※ スポーツビジネス実践演習 健康運動指導士特講	専	講師	片桐 章光 (33)	平成26年4月	基礎ゼミA	平成26年4月 木村教授の担当コマ数の兼ね 合いで担当者を変更(26)	
					専	講師	片桐 章光 (33)	平成26年4月	基礎ゼミB		
専	教授	篠原 淳 (52)	平成25年4月	経営学A 経営学B 基礎ゼミA 基礎ゼミB 専門ゼミⅠA 専門ゼミⅠB 専門ゼミⅡA 専門ゼミⅡB	兼担	教授	篠原 淳 (52)	平成25年4月	経営学A	平成25年4月 篠原淳教授は他学科の専任と なったが、兼担として「経営学 A・B」を担当(25)	
					兼担	教授	篠原 淳 (52)	平成25年4月	経営学B		
					専	教授	光井 信介 (40)	平成25年4月	基礎ゼミA		平成25年4月 受講者数が少ないため、 担当者を統一(25)
					専	教授	光井 信介 (40)	平成25年4月	基礎ゼミB		
					兼担	准教授	鶴石 蘭 (39)	平成26年4月	経営学A		平成26年3月退職 篠原淳 一身上の都合(26)
					兼担	准教授	鶴石 蘭 (39)	平成26年4月	経営学B		平成26年4月 鶴石准教授が、兼担として「経 営学A・B」を担当(26)
					専	准教授	秋山 大輔 (36)	平成26年4月	専門ゼミⅠA		平成26年4月 専任秋山准教授が「専門 ゼミⅠA・B」を担当(26)
					専	准教授	秋山 大輔 (36)	平成26年4月	専門ゼミⅠB		
					専	准教授	秋山 大輔 (37)	平成27年4月	専門ゼミⅡA		平成27年4月 専任秋山准教授が「専門 ゼミⅠ」に引き続き 「専門ゼミⅡ」を担当(27)
専	准教授	秋山 大輔 (37)	平成27年4月	専門ゼミⅡB							
兼担	教授	篠原 淳 (51)	平成24年4月	経営学A 経営学B							

専	教授	末吉 秀彰 (63)	平成24年4月	S.D.SeminarA S.D.SeminarB 基礎ゼミA 基礎ゼミB 簿記原理ⅠA 簿記原理ⅠB 会計学 スポーツ経営財務論	専	教授	木村 公喜 (49)	平成25年4月	基礎ゼミA	平成25年4月 受講者数が少ないため、 担当者を統一(25)	
					専	教授	木村 公喜 (49)	平成25年4月	基礎ゼミB		
					兼担	講師	谷 和也 (44)	平成25年4月	会計学		平成25年4月 末吉教授の担当コマ数の兼ね 合いで担当者を変更(25)
					兼任	講師	萩原 悟一 (29)	平成25年4月	スポーツ経営財務論		平成25年4月 経営学分野と体育学分野の融合 を専門とする兼任講師に変更(25)
専	講師	萩原 悟一 (30)	平成26年4月	スポーツ経営財務論	平成26年4月 萩原講師は新規採用により 専任講師として就任(26)						
専	教授	床並 征生 (70)	平成26年4月	専門ゼミⅠA 専門ゼミⅠB 専門ゼミⅡA 専門ゼミⅡB 経営管理論 スポーツ経営管理 理論 経営戦略論 スポーツ経営戦 略論 経営情報システ ム論A 経営情報システ ム論B	専	准教授	秋山 大輔 (36)	平成26年4月	専門ゼミⅠA	平成26年4月 受講者数が少ないため、 担当者を統一(26)	
					専	准教授	秋山 大輔 (36)	平成26年4月	専門ゼミⅠB		
					専	講師	萩原 悟一 (30)	平成26年4月	スポーツ経営管 理論		平成26年4月 経営学分野と体育学分野の融合 を専門とする専任講師に変更(26)
					専	講師	萩原 悟一 (30)	平成26年4月	スポーツ経営戦 略論		
											平成26年3月退職 床並征生 一身上の都合、兼任に就任(26) 床並教授は兼任として、「経営 管理論」「経営戦略論」「経営 情報システム論AB」を担当(26)
					専	准教授	秋山 大輔 (37)	平成27年4月	専門ゼミⅡA		平成27年4月 専任秋山准教授が「専門 ゼミⅠ」に引き続き 「専門ゼミⅡ」を担当(27)
専	准教授	秋山 大輔 (37)	平成27年4月	専門ゼミⅡB							
専	講師	秋山 大輔 (35)	平成25年4月	健康科学Ⅰ 健康科学Ⅱ S.D.Seminar A S.D.Seminar B 健康管理論 球技Ⅱ <small>健康運動実践指導者特講※ スポーツコーチング実践演習</small>	専	教授	木村 公喜 (49)	平成25年4月	健康科学Ⅰ	平成25年4月 秋山講師の担当コマ数の兼ね 合いで担当者を変更(25)	
					専	講師	片桐 章光 (32)	平成25年4月	S. D. SeminarA		平成25年4月 受講者数が少ないため、 担当者を統一(25)
					専	講師	片桐 章光 (32)	平成25年4月	S. D. SeminarB		
					専	准教授	秋山 大輔 (36)	平成26年4月			平成26年4月 秋山講師、准教授に昇格(26)
兼担	講師	秋山 大輔 (34)	平成24年4月	健康科学Ⅰ 健康科学Ⅱ S.D.Seminar A S.D.Seminar B 健康管理論	専	教授	木村 公喜 (48)	平成24年4月	健康科学Ⅰ	平成24年4月 秋山講師の担当コマ数の 兼ね合いで担当者を 変更(24)	
					専	教授	末吉 秀彰 (63)	平成24年4月	S. D. SeminarA		平成24年4月 受講者数が少ないため、 担当者を統一(24)
					専	教授	末吉 秀彰 (63)	平成24年4月	S. D. SeminarB		
専	講師	片桐 章光 (31)	平成24年4月	スポーツⅠA スポーツⅠB S.D.SeminarA S.D.SeminarB インターンシップ スポーツ指導論 <small>健康運動実践指導者特講※ レクリエーション実習</small>	専	講師	吉川 三恵子 (63)	平成24年4月	S. D. SeminarA	平成24年4月 受講者数が少ないため、 担当者を統一(24)	
					専	講師	吉川 三恵子 (63)	平成24年4月	S. D. SeminarB		
					専	教授	瀧 豊樹 (54)	平成27年4月	インターンシップ		平成27年4月 片桐講師のコマ数の兼ね 合いで担当者変更(27)
専	講師	吉川 三恵子 (63)	平成24年4月	文学Ⅰ 文学Ⅱ 文章表現論Ⅰ 文章表現論Ⅱ S.D.Seminar A S.D.Seminar B							

専	講師	キース・キンズラー (62)	平成25年4月	英会話A 英会話B	兼任	講師	キース・キンズラー (62)	平成25年4月	英会話A	平成25年4月 キース・キンズラー講師は他学科の 専任となったが、兼任として 「英会話A・B」を担当(25) 平成26年4月 キース・キンズラー講師が専任 として本科目を担当(26)  平成27年4月 キース・キンズラー講師は他学科の 専任となったが、兼任として 「英会話A・B」を担当(27)
					兼任	講師	キース・キンズラー (62)	平成25年4月	英会話B	
					専	講師	キース・キンズラー (63)	平成26年4月	英会話A	
					専	講師	キース・キンズラー (63)	平成26年4月	英会話B	
					兼任	講師	キース・キンズラー (64)	平成27年4月	英会話A	
					兼任	講師	キース・キンズラー (64)	平成27年4月	英会話B	
兼任	講師	キース・キンズラー (61)	平成24年4月	英会話A 英会話B	兼任	講師	リッキ・ステンズル (34)	平成24年4月	英会話A	平成24年4月 受講者数が少ないため、 担当者を統一(24)
					兼任	講師	リッキ・ステンズル (34)	平成24年4月	英会話B	
専	助教	坂口 英章 (31)	平成25年4月	レジャースポーツ スポーツ社会学 スポーツ文科論 地域スポーツ振興論 スポーツ行政学 健康運動実践指導者特講※ 健康スポーツ実習Ⅳ コミュニティスポーツ実践演習	専	講師	坂口 英章 (31)	平成25年4月		平成25年4月 坂口英章助教は講師に昇格(25)
					専	講師	萩原 悟一 (30)	平成26年4月	健康スポーツ実習Ⅳ	平成26年4月 水泳が得意分野の萩原講師に 担当者を変更(26)
兼任	教授	波多江 忠彦 (68)	平成24年4月	哲学Ⅰ 哲学Ⅱ 倫理学Ⅰ 倫理学Ⅱ	兼任	教授	坂戸 道和 (65)	平成24年4月	哲学Ⅰ	平成24年3月 波多江教授が自己都合に より辞任のため、平成24年 度から担当者を変更(24)
					兼任	教授	坂戸 道和 (65)	平成24年4月	哲学Ⅱ	
					兼任	教授	坂戸 道和 (65)	平成24年4月	倫理学Ⅰ	
					兼任	教授	坂戸 道和 (65)	平成24年4月	倫理学Ⅱ	
兼任	教授	秋永 知義 (63)	平成24年4月	地域再発見※						
兼任	教授	大内 稔明 (65)	平成24年4月	地域再発見※	兼任	教授	秋永 知義 (64)	平成25年4月	地域再発見	平成25年4月 秋永知義教授と竹川克幸講師 によるオムニバス授業に変更した ため大内教授は担当せず。(25)
					兼任	講師	竹川 克幸 (39)	平成25年4月		
兼任	教授	三善 英毅 (75)	平成24年4月	情報社会学Ⅰ 情報社会学Ⅱ 社会学概論Ⅰ 社会学概論Ⅱ	兼任	教授	丸山 敦 (46)	平成24年4月	情報社会学Ⅰ	平成24年3月 三善教授が自己都合に より辞任のため、平成24年 度から担当者を変更(24)
					兼任	教授	丸山 敦 (46)	平成24年4月	情報社会学Ⅱ	
					兼任	准教授	モリスール ラフマン (56)	平成24年4月	社会学概論Ⅰ	
					兼任	准教授	モリスール ラフマン (56)	平成24年4月	社会学概論Ⅱ	
兼任	教授	太郎良 盛幸 (66)	平成24年4月	政治学Ⅰ 政治学Ⅱ 日本事情(社会)Ⅰ 日本事情(社会)Ⅱ						
兼任	教授	野尻 和仁 (63)	平成24年4月	憲法Ⅰ 憲法Ⅱ	兼任	講師	後藤 浩士 (43)	平成24年4月	憲法Ⅰ	平成24年4月 野尻教授の担当コマ教 の兼ね合いで担当者を 変更(24)
					兼任	講師	後藤 浩士 (43)	平成24年4月	憲法Ⅱ	
兼任	教授	友納 英毅 (70)	平成24年4月	ソシオ・バイオリ ジーⅠ ソシオ・バイオリ ジーⅡ	兼任	教授	友納 英毅 (72)	平成26年4月	ソシオ・バイオリ ジーⅠ	平成26年3月退職 友納英毅 一身上の都合、兼任に就任(26) 友納教授は兼任として、本科目 を引き続き担当(26)
					兼任	教授	友納 英毅 (72)	平成26年4月	ソシオ・バイオリ ジーⅡ	
					兼任	講師	岩崎 靖 (49)	平成27年4月	ソシオ・バイオリ ジーⅠ	平成27年4月 兼任友納教授の辞任に 伴い担当者を変更(27)

兼任	教授	李 慶夏 (54)	平成24年4月	韓国語(初級)A 韓国語(初級)B	兼任 講師	李 今淑 (52)	平成24年4月	韓国語(初級)A	平成24年4月 李教授が病気を患われた ため担当者の変更(24)	
					兼任 講師	李 今淑 (52)	平成24年4月	韓国語(初級)B		
					兼任 講師	徐 正三(38)	平成27年4月	韓国語(初級)A		
					兼任 講師	徐 正三(38)	平成27年4月	韓国語(初級)B		
兼任	教授	セバスチャン・ デイキン (41)	平成24年4月	ビジネスイングリッシュ I A ビジネスイングリッシュ I B ビジネスイングリッシュ II A ビジネスイングリッシュ II B ROSE(海外語学・経済研修)	兼任 准教授	リオス・タイ (45)	平成25年4月	ビジネスイングリッシュ I A	平成25年4月 デイキン教授の担当コマ数 の兼ね合いで担当者を 変更(24)	
					兼任 准教授	リオス・タイ (45)	平成25年4月	ビジネスイングリッシュ I B		
					兼任 准教授	リオス・タイ (45)	平成25年4月	ビジネスイングリッシュ II A		
					兼任 准教授	リオス・タイ (45)	平成25年4月	ビジネスイングリッシュ II B		
					兼任 教授	セバスチャン・ デイキン (43)	平成26年4月	ビジネスイングリッシュ I A		
					兼任 教授	セバスチャン・ デイキン (43)	平成26年4月	ビジネスイングリッシュ I B		
					兼任 講師	ビーターセン・ブライ アンマーク (32)	平成26年4月	ビジネスイングリッシュ II A		
					兼任 講師	ビーターセン・ブライ アンマーク (32)	平成26年4月	ビジネスイングリッシュ II B		
					兼任 講師	椿 健太郎 (29)	平成27年4月	ビジネスイングリッシュ I A		
					兼任 講師	椿 健太郎 (29)	平成27年4月	ビジネスイングリッシュ I B		
					兼任 講師	椿 健太郎 (29)	平成27年4月	ビジネスイングリッシュ II A		
					兼任 講師	椿 健太郎 (29)	平成27年4月	ビジネスイングリッシュ II B		
兼任	教授	川端 実美 (60)	平成24年4月	経済学A 経済学B						
兼任	教授	福永 孝秋 (75)	平成25年4月	情報処理論A 情報処理論B	兼任 教授	井上 伸明 (59)	平成26年4月	情報処理論A	平成26年4月 退職 福永孝秋 一身上の都合(26)	
					兼任 教授	井上 伸明 (59)	平成26年4月	情報処理論B	平成26年4月 兼任 井上教授が担当(26)	
兼任	准教授	田中 俊樹 (49)	平成24年4月	英語(初級)A 英語(初級)B 英語(中級)A 英語(中級)B 英語(上級)A 英語(上級)B	兼任 教授	西田 栄毅 (59)	平成24年4月	英語(上級)A	平成24年4月 田中(俊)准教授の担当コマ 数の兼ね合いで担当者を 変更(24)	
					兼任 教授	西田 栄毅 (59)	平成24年4月	英語(上級)B		
					専 講師	キース・キンスラー (63)	平成26年4月	英語(上級)A		
					専 講師	キース・キンスラー (63)	平成26年4月	英語(上級)B		
					兼任 講師	八幡 光 (67)	平成27年4月	英語(中級)A		
					兼任 講師	八幡 光 (67)	平成27年4月	英語(中級)B		
					兼任 講師	キース・キンスラー (64)	平成27年4月	英語(上級)A		
					兼任 講師	キース・キンスラー (64)	平成27年4月	英語(上級)B		
兼任	准教授	平松 正宏 (51)	平成24年4月	プロスポーツ論 I プロスポーツ論 II						
兼任	講師	長谷川 洋史 (59)	平成24年4月	地域再発見※ 商学A 商学B	兼任 教授	秋永 知義 (64)	平成25年4月	地域再発見	平成25年4月 秋永知義教授と竹川克幸講師 によるオムニバス授業に変更したため 長谷川教授は担当せず。(25)	
					兼任 講師	竹川 克幸 (39)	平成25年4月			
					兼任 教授	吉次 啓二 (63)	平成27年4月			商学A
					兼任 教授	吉次 啓二 (63)	平成27年4月			商学B

兼任	講師	能木 敬次 (55)	平成24年4月	ドイツ語(初級)A ドイツ語(初級)B ドイツ語(中級)A ドイツ語(中級)B ドイツ語(上級)A ドイツ語(上級)B						
兼任	講師	當村 洋一郎 (48)	平成24年4月	運動障害と救急 処置	専	講師	秋山 大輔 (35)	平成25年4月	運動障害と救急 処置	平成25年4月 當村講師が神戸キャンパスでの 業務多忙により担当者変更(25)
兼任	講師	光井 信介 (40)	平成25年4月	運動機能解剖 学 健康スポーツ実 習Ⅲ	専	教授	光井 信介 (40)	平成25年4月		平成25年4月 教授に昇格、東京渋谷キャン パスより専任として就任 (25)
					専	講師	坂口 英章 (31)	平成25年4月	運動機能解剖学	光井教授の担当コマ数の兼ね 合いで担当者の変更(25)
					専	教授	光井 信介 (41)	平成26年4月	運動機能解剖学	平成26年4月 光井教授が専任として本授業 科目を担当(26)
兼任	講師	田中 敏明 (64)	平成24年4月	心理学 I 心理学 II	兼任	講師	今村 義臣 (47)	平成24年4月	心理学 I	平成24年3月 田中(敏)講師が自己都合 より辞任のため、平成24年 度から担当者を変更(24)
					兼任	講師	今村 義臣 (47)	平成24年4月	心理学 II	
					兼任	教授	阿部 啓子 (58)	平成26年4月	心理学 I	平成26年4月 心理学を専門とする阿部教授 の新規採用に伴い担当者 変更(26)
					兼任	講師	阿部 啓子 (58)	平成26年4月	心理学 II	
兼任	講師	中村 彰夫 (62)	平成24年4月	地理学 I 地理学 II						
兼任	講師	伊藤 威 (82)	平成24年4月	地誌学 I 地誌学 II 日本事情(人文) I 日本事情(人文) II	兼任	講師	宮原 英利 (59)	平成25年4月	地誌学 I	平成25年4月 伊藤講師辞任のため平成25 年度より担当者の変更(25)
					兼任	講師	宮原 英利 (59)	平成25年4月	地誌学 II	
					兼任	講師	呉 炫娥 (42)	平成25年4月	日本事情(人文) I	平成25年4月 伊藤講師辞任のため平成25 年度より担当者の変更(25)
					兼任	講師	呉 炫娥 (42)	平成25年4月	日本事情(人文) II	
兼任	講師	梅埜 國夫 (79)	平成24年4月	生物学 I 生物学 II	兼任	講師	岩崎 靖 (47)	平成25年4月	生物学 I	平成25年4月 伊藤講師辞任のため平成25 年度より担当者の変更(25)
					兼任	講師	岩崎 靖 (47)	平成25年4月	生物学 II	
兼任	講師	井上 博元 (86)	平成24年4月	数学 I 数学 II 統計学概論 I 統計学概論 II	兼任	講師	岩崎 靖 (46)	平成24年4月	数学 I	平成24年4月 井上(博)講師のコマ数 の兼ね合いで担当者 変更(24)
					兼任	講師	岩崎 靖 (46)	平成24年4月	数学 II	
					兼任	講師	入江 雅仁 (34)	平成24年4月	統計学概論 I	
					兼任	講師	入江 雅仁 (34)	平成24年4月	統計学概論 II	
兼任	講師	中川 倫明 (78)	平成25年4月	企業論 スポーツビジネス論	兼任	教授	権 純珍 (57)	平成25年4月	企業論	平成25年4月 中川講師辞任のため平成25 年度より担当者の変更(25)
					兼任	講師	萩原 悟一 (29)	平成25年4月	スポーツビジネス論	平成25年4月 経営学分野と体育学分野の融合 を専門とする兼任講師に変更(25)
兼任	講師	瀧 信子 (52)	平成26年4月	レクリエーション 指導法 レクリエーション 論	専	講師	片桐 章光 (33)	平成26年4月	レクリエーション 指導法	平成26年4月 瀧信子講師が自己都合により 担当できなくなったため片桐 講師に担当者変更(26)
					専	講師	片桐 章光 (33)	平成26年4月	レクリエーション 論	



兼任	講師	重松 敏彦 (52)	平成24年4月	日本史 I	兼任	准教授	経 志江 (42)	平成27年4月	日本史 I	平成27年4月 重松講師辞任により 担当者変更(27)
				日本史 II	兼任	准教授	経 志江 (42)	平成27年4月	日本史 II	
兼任	講師	田頭 洋一 (63)	平成24年4月	西洋史 I	兼任	准教授	経 志江 (39)	平成24年4月	東洋史 I	平成24年4月 田頭講師のコマ数の 兼ね合いで担当者の 変更(24)
				西洋史 II 東洋史 I 東洋史 II	兼任	准教授	経 志江 (39)	平成24年4月	東洋史 II	
兼任	講師	世利 俊象 (63)	平成25年4月	マーケティング 論	兼任	講師	萩原 悟一 (29)	平成25年4月	スポーツビジネス マーケティング論	平成25年4月 経営学分野と体育学分野の融合 を専門とする兼任講師に変更(26)
				スポーツビジネス マーケティング論	兼任	教授	大内 稔明 (67)	平成26年4月	マーケティング 論	平成26年4月 世利講師辞任より担当者変更(26)
兼任	講師	増崎 武次 (48)	平成24年4月	環境論 I	兼任	講師	岩崎 靖 (46)	平成24年4月	環境論 I	平成24年4月 増崎講師の担当科目 辞退に伴い、担当者の 変更(24)
				環境論 II	兼任	講師	岩崎 靖 (46)	平成24年4月	環境論 II	
				環境論 I	兼任	教授	秋永 知義 (66)	平成27年4月	環境論 I	平成27年4月 兼任秋永教授の専門分野 であり担当者変更(27)
兼任	講師	呉 炫娥 (41)	平成24年4月	日本事情(自然) I	兼任	講師	呉 炫娥 (42)	平成24年4月		平成25年4月 正式採用され兼任に変更(25)
兼任	講師	趙 雪梅 (48)	平成24年4月	中国語(初級)A	兼任	講師	王 曉芳 (41)	平成25年4月	中国語(中級)A	平成25年4月 趙講師のコマ数の兼ね合いで 王講師に担当者変更(25)
				中国語(初級)B	兼任	講師	王 曉芳 (41)	平成25年4月	中国語(中級)B	
				中国語(中級)A	兼任	講師	趙 雪梅 (51)	平成27年4月	中国語(初級)A	平成27年4月 受講生増加に伴い開講 クラスを増加し担当(27)
				中国語(中級)B	兼任	講師	趙 雪梅 (51)	平成27年4月	中国語(初級)B	
				中国語(上級)A	兼任	講師	王 曉芳 (43)	平成27年4月	中国語(初級)A	平成27年4月 受講生増加に伴い開講 クラスを増加するため 担当者を追加(27)
				中国語(上級)B	兼任	講師	王 曉芳 (43)	平成27年4月	中国語(初級)B	
				中国語(初級)A	兼任	講師	趙 雪梅 (51)	平成27年4月	中国語(中級)A	平成27年4月 受講生増加に伴い開講 クラスを増加するため 担当者を追加(27)
				中国語(初級)B	兼任	講師	趙 雪梅 (51)	平成27年4月	中国語(中級)B	
				中国語(中級)A	兼任	講師	陳 月華 (42)	平成27年4月	中国語(上級)A	平成27年4月 兼任陳講師に担当者を 変更(27)
				中国語(中級)B	兼任	講師	陳 月華 (42)	平成27年4月	中国語(上級)B	
兼任	講師	田中 久美子 (60)	平成24年4月	日本語(初級)A	兼任	講師	黒田 韶子 (48)	平成24年4月	日本語(中級)A	平成24年4月 田中(久)講師のコマ数の 兼ね合いで担当者の 変更(24)
				日本語(初級)B 日本語(中級)A 日本語(中級)B 実用日本語A 実用日本語B	兼任	講師	黒田 韶子 (48)	平成24年4月	日本語(中級)B	
兼任	講師	野口 昌子 (69)	平成24年4月	日本語(中上級)A	兼任	講師	田中 久美子 (60)	平成24年4月	日本語(中上級)A	平成24年4月 野口講師の担当科目 辞退に伴い、担当者の 変更(24)
				日本語(中上級)B	兼任	講師	田中 久美子 (60)	平成24年4月	日本語(中上級)B	
				日本語(上級)A	兼任	教授	池原 明子 (65)	平成24年4月	日本語(上級)A	平成24年4月 野口講師の担当科目 辞退に伴い、担当者の 変更(24)
				日本語(上級)B ビジネス日本語A ビジネス日本語B	兼任	教授	池原 明子 (65)	平成24年4月	日本語(上級)B	
兼任	講師	李 今淑 (53)	平成25年4月	韓国語(中級)A	兼任	講師	呉 炫娥 (44)	平成27年4月	韓国語(上級)A	平成27年4月 兼任呉講師に担当者を 変更(27)
				韓国語(中級)B 韓国語(上級)A 韓国語(上級)B	兼任	講師	呉 炫娥 (44)	平成27年4月	韓国語(上級)B	

兼任	講師	平井 智子 (52)	平成24年4月	情報リテラシー基礎実習A 情報リテラシー基礎実習B	兼任	講師	森 由紀 (44)	平成27年4月	情報リテラシー 基礎実習A	平成27年4月 兼任森講師に担当者を 変更(27)	
					兼任	講師	森 由紀 (44)	平成27年4月	情報リテラシー 基礎実習B		
					兼任	講師	萩山 裕子 (54)	平成27年4月	情報リテラシー 基礎実習A		平成27年4月 受講生増加に伴い開講 クラスを増加するため 担当者を追加(27)
					兼任	講師	萩山 裕子 (54)	平成27年4月	情報リテラシー 基礎実習B		
兼任	講師	山仲 由紀 (46)	平成25年4月	キャリアデザイン ⅠA キャリアデザイン ⅠB キャリアデザイン ⅡA キャリアデザイン ⅡB 女性のためのラ イフプランニング	兼任	講師	的野 佑妃子 (46)	平成26年4月	キャリアデザイ ンⅠA	平成26年4月 山仲講師辞任により担当者 変更(26)	
					兼任	講師	的野 佑妃子 (46)	平成26年4月	キャリアデザイ ンⅠB		
					兼任	講師	中里 亜希子 (36)	平成26年4月	キャリアデザイ ンⅡA	平成26年4月 山仲講師辞任により担当者 変更(26)	
					兼任	講師	中里 亜希子 (36)	平成26年4月	キャリアデザイ ンⅡB		
兼任	講師	森 由紀 (42)	平成25年4月	情報リテラシー 応用実習A 情報リテラシー 応用実習B	兼任	講師	森 由紀 (42)	平成25年4月		平成25年4月 新規採用により兼任に変更(25)	
					兼任	講師	萩山 裕子 (52)	平成26年4月	情報リテラシー 応用実習A	平成26年4月 森講師のコマ数の兼ね合いで 担当者変更(26)	
					兼任	講師	萩山 裕子 (52)	平成26年4月	情報リテラシー 応用実習B		
					兼任	講師	森 由紀 (44)	平成27年4月	情報リテラシー 応用実習A	平成27年4月 兼任森講師に担当者を 変更(27)	
					兼任	講師	森 由紀 (44)	平成27年4月	情報リテラシー 応用実習B		
					兼任	講師	相馬 真由美 (39)	平成27年4月	情報リテラシー 応用実習A	平成27年4月 受講生増加に伴い開講 クラスを増加するため 担当者を追加(27)	
					兼任	講師	相馬 真由美 (39)	平成27年4月	情報リテラシー 応用実習B		
兼任	講師	王 シュウラン (37)	平成24年4月	法学A 法学B 外書講読A 外書講読B 経営財務論Ⅰ 経営財務論Ⅱ						平成24年3月 王 シュウランから 鶴石 蘭に改姓(24) 平成24年4月 新規採用により兼任に変更(24) (記述漏れです。申し訳ありません) 平成26年4月 准教授に昇格(26)	
					専	講師	萩原 悟一 (30)	平成26年4月	外書講読A	平成26年4月 米国大学院修了の萩原講師に 担当者変更(26)	
					専	講師	萩原 悟一 (30)	平成26年4月	外書講読B		
					兼任	准教授	小嶋 恵 (57)	平成27年4月	法学A	平成27年4月 鶴石准教授のコマ数の 兼ね合いで担当者を 変更(27)	
					兼任	准教授	小嶋 恵 (57)	平成27年4月	法学B		
兼任	講師	中島 敬介 (43)	平成25年4月	経営組織論 スポーツ組織論	兼任	教授	瀧内 洋 (63)	平成25年4月	経営組織論	平成25年4月 中島講師辞任のため平成25 年度より担当者の変更(25)	
					兼任	講師	萩原 悟一 (29)	平成25年4月	スポーツ組織論	平成25年4月 経営学分野と体育学分野の融合 を専門とする兼任講師に変更(25)	
兼任	講師	的野 佑妃子 (47)	平成26年4月	経営労務論 スポーツ労務管 理論	兼任	講師	弓 洋平 (41)	平成26年4月	経営労務論	平成26年4月 労務問題等を専門とする弓講師 新規採用により担当者変更(26)	
					兼任	准教授	大塚 知弘 (42)	平成27年4月	経営労務論	平成27年4月 弓講師の辞任に伴い 担当者変更(27)	
					専	講師	萩原 悟一 (30)	平成26年4月	スポーツ労務管 理論	平成26年4月 経営学分野と体育学分野の融合 を専門とする専任講師に変更(26)	

兼任	講師	塚本 良作 (66)	平成24年4月	トレーニング科学Ⅰ トレーニング科学Ⅱ 健康スポーツ実習Ⅰ 健康スポーツ実習Ⅱ	専	講師	秋山 大輔 (35)	平成25年4月	トレーニング科学Ⅰ	平成25年4月 塚本講師辞任のため平成25 年度より担当者の変更(25)
					専	講師	坂口 英章 (31)	平成25年4月	トレーニング科学Ⅱ	
					専	教授	光井信介 (40)	平成25年4月	健康スポーツ実習Ⅰ	
					専	教授	光井信介 (40)	平成25年4月	健康スポーツ実習Ⅱ	
兼任	講師	古手川 郁人 (53)	平成25年4月	障害者スポーツ論	専	教授	光井信介 (42)	平成27年4月	障害者スポーツ論	平成27年4月 専任光井教授に担当者 を変更(27)
兼任	講師	寺尾 恭徳 (46)	平成26年4月	スポーツ医学	専	教授	光井信介 (42)	平成27年4月	スポーツ医学	平成27年4月 専任光井教授に担当者 を変更(27)
兼任	講師	竹川 克幸 (39)	平成24年4月	地域再発見※						

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇学部 △△学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。  
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。  
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。  
 ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成27年5月1日現在の満年齢を記入してください。  
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。  
 ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**  
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成		年齢構成(前年度の状況)	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
5 (3)	0 (0)	4 (2)	1 (0)	10 (5)	5 [ - ]	1 [ +1 ]	5 [ +1 ]	0 [ Δ1 ]	11 [ +1 ]	教授65歳 准教授以下 60歳	3 名	教授65歳 准教授以下 60歳	4 名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成27年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)  
 ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成27年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 ・ 「年齢構成(前年度の状況)」については、報告書提出の前年度の状況を記載してください。今年度初めて報告書を提出する場合は記入不要ですので、「-」を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教授	篠原 淳	平成25年4月、健康スポーツ経営学科の専任として就任予定であったが、平成24年度から経営学科長に就任していたため、本学科への就任辞退（25）
2	講師	キース・キンスラー	平成25年4月、健康スポーツ経営学科の専任として就任予定であったが、光井信介教授が転属により専任として就任したため、本学科の今年度充足予定数を充たしたことから就任辞退（25）
3	教授	床並 征生	平成26年4月、健康スポーツ経営学科の専任として就任予定であったが、一身上の都合により兼任として授業のみを担当したい、かつ担当科目数を減ずるということで兼任教員に就任した。（27）

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

篠原教授は、兼担として本学科の「経営学A・B」を担当するとともに、担当を予定していた「基礎ゼミA・B」及び来年度以降の「専門ゼミIA・B」「専門ゼミIIA・B」についても、代替教員の手当が出来ることから履修への影響は最小限に抑えられると思料する。また、キンスラー講師についても兼担として、本学科の「英会話」を担当していることから履修への影響はないものとする。学生に対する周知については、オリエンテーション（履修説明）において本学科の学生に対し説明した。（25）

床並教授は、兼任として当初担当予定の「経営管理論」「経営戦略論」「経営情報システム論A・B」を引き続き担当している。なお担当予定であった「スポーツ経営管理論」「スポーツ経営戦略論」は経営学分野と体育学分野の融合を専門とする専任教員が担当するとともに、「専門ゼミI」「専門ゼミII」についても他の専任教員が担当できることから履修への影響はないものとする。（27）

- (注) ・ 上記（3）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (25年2月)	経済学部健康スポーツ経営学科、福岡こども短期大学こども教育学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保につとめるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	留意事項	平成25年度、経済学部健康スポーツ経営学科の定員充足率は0.81と向上した。福岡こども短期大学こども教育学科の定員充足率は0.63であった。(25)
設置計画履行状況 調 査 時 (26年2月)	経済学部健康スポーツ経営学科の定員充足率が0.7倍未満となっていることから、学生の確保につとめるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	留意事項	平成25年度の定員充足率は0.81（平均入学定員超過率0.66）であったが、平成26年度の定員充足率は0.48と低下した。また3年間の平均入学定員超過率も0.60と低下した。(26)
設置計画履行状況 調 査 時 (27年2月)	経済学部健康スポーツ経営学科の定員充足率が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見	認知度の向上とスポーツ関係の高大連携を推進し、学生の確保に努めた結果、平成27年度入学者は84名（入学定員の1.05倍）であり、4年間の入学定員超過率も0.71と向上した。(27)
	経済学部健康スポーツ経営学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見	平成26年度の定年を超える専任教員数は11名中、4名（36%）であったが、平成27年度の定年を超える専任教員数は3名（27%）と減少した。(27)

(注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

## 7 その他全般的事項

### <経済学部 健康スポーツ経営学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>&lt;修了要件単位数&gt;            基礎科目（人文科学系4単位以上、社会科学系4単位以上、自然科学系4単位以上、語学系4単位以上）計30単位以上、専門科目（必修科目8単位、必修科目以外の共通科目・経営学関連科目32単位以上、健康スポーツ関連科目32単位以上）計94単位以上を履修し、合計124単位以上を修得すること。</p>	<p>&lt;平成25年度以降入学生用修了要件単位数&gt;            基礎科目（人文科学系4単位以上、社会科学系4単位以上、自然科学系4単位以上、語学系 選択必修科目8単位以上）計34単位以上、専門科目（必修科目28単位、必修科目以外の共通科目・経営学関連科目12単位以上、健康スポーツ関連科目32単位以上）計80単位以上を履修するとともに、さらに基礎科目および専門科目の中から10単位以上履修し、合計124単位以上を修得すること。（25）</p> <p>*学生の専門性をより高めるため、必修科目（10科目・20単位）を追加した。（「授業科目新旧対照表」参照）（25）</p> <p>*基礎学力の向上を図るため、特に語学系科目の充実（選択必修化8単位以上）するとともに、基礎科目の修了要件に占める割合を高くした。（25）</p>

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 FD委員会</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 2ヶ月に1回 教員5名 80%以上参加</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ FD推進のための企画及び実施に関すること。</li> <li>・ FDに関する報告書等の作成に関すること。</li> <li>・ FDに関する調査・研究に関すること。</li> <li>・ 教育内容及び教育環境の改善に関すること。</li> <li>・ 教育技法の改善・向上のための具体的活動に関すること。</li> <li>・ 学生による授業評価の実施・結果公表と授業改善に関すること。</li> <li>・ 教育職員の資質開発を計るための組織的な研修に関すること。</li> <li>・ その他FDの推進及び委員会に関すること。</li> </ul> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業方法についての研究</li> <li>・ 学生による授業評価アンケートの企画・実施</li> <li>・ 教員による授業参観の企画・実施</li> <li>・ 学生指導要領の検討、特に中途退学防止について</li> <li>・ 新任教員のための研修会の企画・実施</li> </ul>
--

b 実施方法

- ・ 授業評価アンケートの企画・実施及び評価
- ・ 教員による授業参観の企画・実施及び改善事項の徹底  
(学生による授業評価アンケート結果が高い教員の授業実施要領を研修し参考にする。)
- ・ 全教員のための研修会の企画・実施
- ・ FD委員会において、教員の資質向上に関する事項の検討
- ・ FD委員会における懸案事項を各学科長に伝達し各学科の教員間で情報を共有する。
- ・ 内容により、全教員対象の研修会の実施、または全教員へのメール送信による徹底

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 履修・成績指導要領について H27. 3. 19 教員研修 62名参加
- ・ 「発達障害がある学生の支援について」（講演）  
(福岡県発達障害者支援センターあおぞら 発達支援員（臨床心理士） 松尾 伸一氏)  
H26. 7. 18 教員研修 54名参加
- ・ 授業評価アンケート H26 春・秋学期 各1回実施、全教員対象
- ・ 教員による授業参観 H26年10月6日～11月4日 延べ 25名研修  
(H26年度は、学生による授業評価アンケートの評価結果が高い教員を研修する授業参観とした。)
- ・ 新任教員のための研修会 H27. 3. 27及び 3. 28、新任の専任教員5名、兼任教員2名参加
- ・ 「みんなのためのPDCA」（講演） 日本経済大学大学院 教授 古川久敬 氏  
H27. 3. 28、教員研修 51名参加

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 授業評価アンケート結果を各教員に配布し、改善策を記入させた後、回収
- ・ 学生の視点に立った授業運営に努めるべく教員の意識向上  
(留学生を対象とした「専門用語」の解説書作成)
- ・ 学科所属教員の学科運営に関する意識の共有

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

実施している。年2回、各学期末（14～15週授業時）

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケート結果（改善策）を簿冊にして大学図書館に設置するとともに、大学ホームページ上で教員別の評価得点を情報公開

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

経済学を基礎として、経営学と保健体育学の学際的な知識、技術を学習し、スポーツ経営分野における独自性、専門性を追求するため、経営学関連科目と健康スポーツ関連科目をカリキュラム上バランス良く配置し、スポーツ経営分野における個性的なリーダーを育成するという本学科の目的が、広く理解されてきたものと確信する。

昨年は、以前の一般的な募集広報から体育部活動実施者を募集対象として重点指向した結果、入学者数は昨年度の39名に比し、今年度は84名と大幅に増加した。

これは、高等学校の進路主事および部活指導者をはじめ体育部所属の生徒に、本学科の設置の趣旨・目的が十分理解されたことに加え、スポーツリーダーの資格取得及びアシスタントマネージャー並びに健康運動実践指導者の受験資格が得られ、将来の就職にも有利なことが認識されたことによるものと思料する。

今後とも、本学ホームページ等を活用し認知度の向上を図るとともに、体育系学科のある高校または体育部活動者への広報を強化し、昨年度培ったスポーツ関係での高大連携を更に推進することにより定員充足率の向上を図り、設置の趣旨・目的が十分達成できるよう努力していく。

#### ② 自己点検・評価報告書

##### a 公表（予定）時期

- ・平成27年7月前後に公表予定（平成26年度分）

##### b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定

#### ③ 認証評価を受ける計画

- ・受審申請は平成28年度に行い、平成29年度に受審の予定である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

### (4) 情報公表に関する事項

#### ○ 設置計画履行状況報告書

##### a ホームページに公表の有無

(  有 ) ・ (  無 )

##### b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

( 平成 27 年 6 月 予定 )